

団体表彰

田んぼdeミュージカル委員会

北海道むかわ町

概 要

映画制作を行うために立ち上がった高齢者とその活動を支援するスタッフにより構成。俳優、スタッフのほとんどが高齢者による自主映画の制作活動は、各方面から評価され地域の自信、自慢となり、地域の活性化につながる取組となっている。

評価された点

- ・発想がユニーク。田んぼで元気になる高齢者の活躍は他の模範になる。
- ・ユニークな活動である。こうした活動を通じて一体感と元気がでるであろう。



特定非営利活動法人 ジュニアグローバルトレーニングスクール 青森県青森市

概 要

事業名「2008 ジュニアグローバルトレーニングスクール in AOMORI」
日本・韓国・中国・米国の小学生が2泊3日の共同生活や文化体験事業をおこなうもので、高校生・大学生等がボランティアとして運営に参加。参加者ならびに運営ボランティア双方の国際感覚ならびに異文化との共生意識を育成する。

評価された点

- ・日韓中米の小学生が2泊3日の共同生活を行うことは、国際交流の面で有益。また、高校生や大学生がボランティアとして参画することもある。
- ・市民ボランティアの運営による多様な国際交流事業であり、参画している児童や団体の裾野も広く、まち全体の取組であることが評価される。
- ・青年商工会議所、PTAなどが協力して小さな国際人を育てている。特に男親達を中心となって活動しているのは、地域にとって重要なこと。若者たちも数多くボランティアとして関わっていることを評価。



特定非営利活動法人 東鳴子ゆめ会議

宮城県大崎市

概 要

地域ぐるみで重曹を活用したエコ生活を進め、環境に優しい温泉地を目指している。
また、農作業体験をして汗を流し、農家のおいしいお昼ご飯を食べて温泉で汗を流す「田んぼ湯治」や、「山守り湯治」といった地域住民と湯治客が交流しながら、山林の手入作業を行い、作業後の汗を温泉で流す事業などを実施。

評価された点

- ・農業を体験し、農家のおいしいお昼を食べ、温泉に入る。農村の伝統的な生活は、都会の生活に疲れた現代人に「生きるとは何か」との問題を提起するだろう。
- ・単なる観光ではなく、自分たちの地域を楽しく生活できるよう工夫しながら温泉を守ってきている点を評価。
- ・情報も域内だけでなく全国に発信している点を評価。
- ・短期間で形にしている点を評価。



くろほね交流居住支援隊

群馬県桐生市

概 要

首都圏に在住する『田舎暮らし指向者』を対象に、農作物収穫体験を通じて、生産者等の地域住民との交流促進や『食』に対する意識の高揚を図ることを基本コンセプトにした事業などを実施。

評価された点

- ・田舎暮らしを望む都会人へ農作業体験を通じ食に対する問題意識を高めることは、食の安全と、食糧自給率の向上の意識へつながるだろう。
- ・スローライフの促進



団体表彰

日本愛妻家協会

群馬県嬭恋村

概要

嬭恋村の村名の由来と「愛妻家」をキーワードに、観光・農業などの面での交流人口の増加など、嬭恋村の活性化のために取り組んでいる。毎年、「キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ」などのイベントを実施して、嬭恋村のPRを行っている。

評価された点

・ユニークな発想と工夫を凝らしたPR作業を評価。何よりも楽しく笑顔で活動しているのは、これからの日本の地域づくりには不可欠。



金屋町まちづくり推進協議会

富山県高岡市

概要

歴史と街並みを生かしたまちづくりと、鋳物などの伝統産業による地域活性化に向けた活動を行うことで、鋳物文化の中心である金屋町で生活する住民が、金屋町の歴史と文化を学び、郷土愛を育む契機とし、イベントなどの取り組みを通して、市民のみならず全国に地域の魅力を発信することを目的とした活動を展開している。

評価された点

・協議会の中心的役割を女性が担い、多くの関連団体や行政、大学とのコラボレーションをとり、まちなみの保存と次世代の子どもたちに伝統を継承することに努めている。
・まちなみ保存について官民一体となって前向きに取り組む、古い中にも新しい体質に変え維持する姿勢を評価。



黒川町内会

富山県上市町

概 要

町内会として、黒川地区が有する地域資源と歴史遺産を活かしたまちづくりにより、地域の活性化を図るため、「穴の谷の霊水」及び周辺の管理・運営や炭焼き窯などを使つての体験事業などグリーンツーリズムの推進などの活動を行っている。

評価された点

- ・「名水と歴史の郷」をコンセプトにして、「穴の谷の霊水」の資源をベースに、桜の森づくりや炭焼き窯などの体験事業により、グリーンツーリズムを推進している。過疎地域からの脱却を図ろうとしている。
- ・自然を活かした地域づくり。過疎化していく中、町内会全員で「明るく美しい霊水の里」をキャッチフレーズに伝統文化を維持する等積極的に活動を展開している点を評価。



雪だるま倶楽部

石川県白山市

概 要

過疎化が進展する白峰地域において、活性化に向けて地域の若者が立ち上がり、住民総参加のもとで雪だるままつりを平成2年に開催し、今では石川県の冬の風物詩に位置付けられている。その若者達を中心として、雪だるま倶楽部が組織されたが、第二の村おこし作戦として、平成19年から古民家再生を兼ねた雪だるまカフェを開設している。

評価された点

- ・過疎化を食い止めようと若者が立ち上がった点を評価した。
- ・雪だるまという素朴なコンセプトをうまくアピールした町おこしである。



団体表彰

株式会社 南信州観光公社

長野県飯田市

概 要

南信州地域への体験型観光ツアーの受入を切り口とし、地域内外の人々が交流する仕掛けを創り出すことにより、地域内経済の活性化を図るとともに、交流から育まれる地域住民の意識向上・自信回復を支援し、地域の振興を図る。

評価された点

- ・体験型観光と広域観光による地域振興を目指して、行政や企業・団体が協力して組織を立ち上げ、それぞれが連携しながら独立採算による下伊那地域全体のブランド力強化につなげている点が評価される。他地域への波及効果も高い。
- ・飯田市は公民館運動が盛んで手づくりのホスピタリティ精神が豊かである。その地域ならではのツーリズムのメニューを独自に開発している点を評価。
- ・体験型観光の創造。多くの人をネットワーク化し巻き込んで実施している。
- ・成果を積み上げている点
- ・地域産業おこしの1つのモデルとして今後も期待している。



特定非営利活動法人 生活バス四日市

三重県四日市市

概 要

平成14年5月のバス路線廃止は、高齢者を中心に日常生活に大きな影響を与えることとなった。このような中、地域住民の交通手段を守るために、住民が主体となり住民が真に必要なとする公共交通の運行に向け、NPO法人「生活バス四日市」を設立。地元企業との協働のもとに、全国ではじめてNPO法人による地域密着型コミュニティバスの運行を実現した。

評価された点

- ・単独でのコミュニティバス経営は様々な困難が伴うが、二次交通の確保は“街の元気づくり”の様々な鍵とも言える重要な策であるため、こうしたチャレンジを是非他の地域へのエールとしても成功させて広めて頂きたい。
- ・全国で初めてのNPO法人による「生活バス四日市」の取組を参考に、全国的に広がる事を期待したい。高齢者には大変助かるであろう。



京都学生祭典実行委員会

京都府京都市

概 要

毎年新しい実行委員会(学生組織)を立ち上げ、新たなコンセプトのもと、企画・運営・営業・広報・警備まですべてを学生が行う、京都学生祭典本祭を開催。産学公地域がともに携わることで、企業や地域の活性化、人と人とのつながりの形成など、地域の活性化と学生の成長を同時に達成する学生プロデュースの市民祭に取り組んでいる。

評価された点

- ・京都三大祭りに加える新しい時代の祭りとして、若い世代が主体になり地域と密着した形で実施されている。地域づくりを住民と協働して定着させている点が、「学生の街 京都」の誇りを感じさせ、継続性を強く読み取れる。決して単発イベントではない日常的な積み重ねがある。
- ・4年という限られた年限しか住まない学生たちはなかなか地域コミュニティにとけ込めないことが多い。一方、地域も学生たちの若いエネルギーと一緒にあってコミュニティを作るきっかけを見つけるのが難しい。この活動はそのきっかけを作るものと評価。
- ・学生中心の組織は継続性が低いと言われているが、産・学・官・地域が携わる事は画期的取組で評価したい。



特定非営利活動法人 芸術と計画会議

兵庫県神戸市

概 要

老朽化し廃ビル状態であった施設を現代美術の作家が中心となり作品制作の場として公開。また、展覧会、ワークショップ、コンサート、上映会など、様々なプログラムを実施することで、人とアートの関係性を見つめ直し、美術館とは違う形でアートに接する機会を市民に提供している。

評価された点

- ・震災後、アーティストたちが積極的にまちづくりに参画し、老朽化していたビル(旧神戸移住センター)を再生、現在は港に近い場所で活動、神戸のまちづくりをリードしている点を評価。
- ・都市の再生、再利用による活性化、また、アーティストックなまちづくりは神戸の地のイメージとマッチしている。



コウノトリ野生復帰推進連絡協議会

兵庫県豊岡市

概 要

コウノトリの野生復帰に向けて関係団体が連携しながら、環境創造型農業の推進や河川の自然再生、里山林整備など環境整備に取り組み、コウノトリの野生復帰への第一歩となる試験放鳥を行うなど、コウノトリの生息環境の整備について取り組んでいる。

評価された点

- ・「コウノトリが生息できる環境は人にとっても良好である」との認識に基づき、田園の再生など環境整備や普及啓発、都市との交流による観光振興といったさまざまな取組を、住民や行政、団体等が一体となって実施し、自然環境の保全のみならず、地域全体の活性化につながっている点が評価できる。
- ・自然環境の再生に対する地域ぐるみの協力と努力、また、その結果として産業再生にもつながっている。安心・安全そして地球に優しい取組はこれからのシンボルともいえる。
- ・参画と協働、1つのモデルとしても評価したい。
- ・夢があることが何よりも評価



有限会社 安達商事

鳥取県日野町

概 要

購買人口の減少により撤退した生協及びJAの店舗を引き受け、地域の雇用と住民の利便性を確保すると共に山間集落での生鮮食料品等の移動販売を行っている。また、全国初となるコンビニ商品の移動販売を始めるなど、交通手段を持たない山間地集落の高齢者等の生活を支えている。

評価された点

- ・過疎化、高齢化の村を救う試みで、商売ではあるが、独居老人を訪ねるなど地域に密着した見守り活動は、中山間地域の高齢者支援のモデルとなる。
- ・地域規模に合った適性なコミュニティビジネスを探ることは、まちづくりの中でも大切な視点となっている。地域に適性適切なスケールを経営戦略として、多様な手法を編み出している。今後も是非とも期待したい。



倉敷市インクルージョン推進事業全体協議会

岡山県倉敷市

概 要

支援の必要な子どもたちを地域の中で自然に育てていくことを目的とし、障害児等が地域(中学校区)において、企業、ジョブサポーター(仕事体験のサポーター)等の協力を得て、放課後週1回程度「仕事体験(ぶれジョブ)」を行うことによって、将来の就労等につなげる市民活動を推進している。



評価された点

- ・支援の必要な子どもたちを仕事体験によって育成する。そして将来の就労につなげていく前向きな取組が評価できる。子どもの自発的な行動を促すことと周囲の温かい理解が必要だろう。
- ・学校、家庭、地域、企業の連携によるインクルージョン教育の実践モデル。



特定非営利活動法人 北九州ビオトープ・ネットワーク研究会

福岡県北九州市

概 要

若松区の山、川、海、里地を流域一体で環境学習の資源・財産として捉え、「環境改善まず地域から」を合言葉に、一般市民参加型の環境保全イベントの定期的な開催、シンポジウムやフォーラムの開催を通じて流域一体の環境改善とともに市民の環境に対する意識の向上を目的とした取り組みを行っている。



評価された点

- ・広範囲な取組とともに研究等にも貢献し、市民の意識の向上につながっている点
- ・今後に期待できる点



特定非営利活動法人 つどいの広場いづか

福岡県飯塚市

概 要

0歳～18歳までの全ての子どもたちの居場所作りを目指し、乳幼児とその保護者の居場所、障がいのある子どもとその保護者の居場所、高齢者と子どもたちのふれあいの場を提供するとともに、子どもたち自身が企画・活動する場を提供している。

評価された点

- ・こども・保護者・高齢者がふれあい、子どもたち自身が企画し活動することで、子どもたちの魅力有る居場所を作るアイデアが良い。
- ・公立幼稚園の廃園に伴い、市と住民が協働で自主運営し、子どもの居場所づくりだけでなく、高齢者、障害者、子育て中の親などの幅広い交流の場となっている。
- ・子育て支援、不登校の子の居場所など今日の社会課題に取り組み、着実に成果を上げつつある。

